

大

往

生

の

勉強会

終末期



濃厚医療・過剰医療で限られた時を失わないために

「延命治療せず 6割経験」— 救命センター、搬送の高齢者に —



こんな大きな文字が新聞の1面にありました。高齢者が安穩に逝くことが救急の現場でも多く取り入れられるようになりました。限られた最後の時間を、看取る人にも看取られる人にも穏やかで悔いのないものにするには？一緒に考えましょう。

脳梗塞のあと13種の薬を処方され体調が悪く生活の質が落ちていた方が、そのうち11種を別の医師の指導で止めたところ体調が良くなり若さを取り戻した。その方、曾根清次さんをゲストに迎えて体験をお聞きます。

- 講師：須齋 美智子(すさい みちこ)
NPO法人ライフ・アンド・エンディングセンター理事長
- ゲスト：曾根 清次さん 63歳

- 日時：平成25年1月30日(水)午後2時～4時
- 場所：さいたま市立浦和コミュニティセンター 第14集会室
JR浦和駅東口駅前コンナール(市総合施設)10階
- 定員：72名
- 参加費：500円
- 主催：ライフ・アンド・エンディングセンター
- 申込：TEL048-855-1238 FAX048-855-1006 Email office@npolec.org